

①さいたま市図書館の一年

さいたま市図書館の一年

1 「さいたま市図書館ビジョン実施計画」の策定

さいたま市図書館では、図書館が今後取り組むべきサービスの目標や指針、管理運営などの基本方針を「さいたま市図書館ビジョン」として、平成25年3月に策定しました。図書館ビジョンでは、さいたま市の図書館を「地域の知の拠点」として位置づけ、その役割を果たしていくために4つの目標と22の基本方針を定めました。さらに、個別の具体的な事業を計画的かつ効果的に推進することを目的に平成32年度までの8年間を計画期間として、平成25年8月に「さいたま市図書館ビジョン実施計画」を策定しました。

2 武蔵浦和図書館開館1周年

平成26年1月4日に武蔵浦和図書館は開館1周年を迎えました。

開館1年目（平成25年1月～12月）の総貸出数は約94万点で、中央図書館、北図書館に続き市内第3位、児童書の貸出数は約32万8千点で市内第1位と大きな成果をあげました。また、おはなし会や映画会などの親子向けイベントを中心に1年間で50回開催し、延べ約2千人が参加しました。

開館1周年の記念イベントとしては、さいたま市ゆかりの児童文学作家による講演会や平成26年6月に結成した南区の図書館で活動するボランティアグループによるおはなし会を実施し、多くの参加者でにぎわいました。

3 北浦和図書館開館40周年

昭和49年1月11日、浦和市立図書館として開館した北浦和図書館が、平成26年1月で開館40周年を迎えました。これを記念して、開館当時の旧浦和市の様子や出来事を記念品やパネル等で紹介する「40年前の記憶－北浦和図書館開館40周年」記念展示を行うとともに、北浦和地域の身近な歴史を掘り起こした冊子「北浦和歴史再発見－開館40周年記念北浦和歴史発掘プロジェクト－」を作成しました。

4 パンフレットラック設置事業及び広告付きマット設置事業開始

平成25年7月から、11図書館に学校案内等に関するパンフレットラックを民間事業者が設置し、使用料等を徴収する事業を開始しました。また、平成25年9月1日から、中央図書館及び与野図書館の入口に広告付きマットを設置し、設置面積に応じて使用料を徴収する広告事業を開始しました。

これらの結果、平成25年度のパンフレットラック設置事業により116万円、広告付きマット設置事業により13万円の歳入があり、図書館事業の充実に資することができました。